



2010年1月吉日

地域開催の体操競技・競技会での使用「ゆか」器具について(通達)

財団法人日本体操協会
専務理事 渡辺守成

各都道府県体操協会・連盟御中
各ブロック体操協会御中

平素より体操界の発展に、ご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。
本協会では、体操競技「ゆか」器具の仕様につきまして、ゴム方式とスプリング方式の両方ともに本協会公認器具として認定をいたしております。
従いまして、地域にて開催される体操競技・競技会での使用「ゆか」器具については、ゴム方式とスプリング方式の両方ともに使用可能といたします(但し、国体については本協会と開催県協会・連盟との検討事項とし、本件よりは除外いたします)。
末筆ではございますが、貴協会・連盟の今後益々のご発展を祈念いたします。

体操競技選手ならびに所属各位

平素より体操界の発展に、ご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。
上記のとおり、本協会では地域にて開催されます体操競技・競技会における「ゆか」器具については、ゴム方式とスプリング方式の両方ともに使用可能としております。

スプリング方式の「ゆか」器具の普及状況は47都道府県中17都道府県で、既存のゴム方式からスプリング方式への取替費用は5~6百万円、新規でスプリング方式を購入すると1千万円以上と、現在の国内の経済状況からも直ちにスプリング方式の「ゆか」器具を整備できる状況にはございません。競技会運営担当者は出場選手のために、より良い環境を整えたいとの気持ちはあるものの、現状は厳しい状況にあることをご理解賜りたいと存じます。

一部に、ゴム方式での「ゆか」器具を採用している競技会への出場辞退を示唆している選手もいるとの情報もございますが、何卒、地域の体操界発展のためにもご理解を賜り、地域協会にご協力をしていただけますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴殿ならびに貴所属の今後益々のご活躍を祈念いたします。

以上